



**基本事項** 『講道館館員番号が9桁から10桁に変更されています。』

- 初段は、県柔連の審査日において、中学2年生から受験できる。
- 生年・昇段年・入門年・試合年(〇〇〇〇)は**西暦**で記入。
- 現住所は**都道府県**から正確に記入。
- 様式は、県または、地区のホームページから入手可。フォント・サイズは変更しないこと。

**推薦書作成要領:**各項目欄ごとに、正しく記入。

【「候補者」は、「受験者本人」です。  
氏名・フリガナ・生年月日・現住所など】

- ① 「女子」の推薦書は**ピンク色**です。
- ② 講道館入門済で、館員番号が不明な場合は、講道館に確認可。(電話番号:03-3811-7153)
- ③ 平成27年度から、全柔連登録の「メンバーID」を記入。**(未登録の候補者は、受験できません。)**
- ④ 一級の場合は、「段」を「級」に書き換え、「**一級**」とする。  
級・段位は、一級、初・弐・参段と該当する級・段位を記入。  
女子の場合は、「**女子〇級・段**」と記入。
- ⑤ 候補者氏名・フリガナ共、「苗字」と「名」の間に、「**一字 □空ける**」(試合相手・指導者の氏名も同じ)。  
パソコンで表記できない漢字については、別途事務局まで連絡して下さい。  
苗字変更があった地区会員についても別途事務局まで連絡して下さい。
- ⑥・⑦ 一級の場合は、「段」を「級」に書き換え、「**一級**」とする。  
級・段位は、一級、初・弐段と該当する級・段位を記入。  
女子の場合は、「**女子〇級・段**」と記入。
- ⑧ **千葉県柔道連盟審査会日付を基準**に年月数を計算して記入。  
「現段位」の昇段年月日は、現段位証書等で確認。
- ⑨ 弐段以上の候補者は、「千葉県柔道連盟」等と府県柔道連盟を記入。  
東京都の場合は、「〇〇区柔道会」と24区団体名を記入。
- ⑩ 〇〇県・市立、私立の別、在學生は「**在学中**」、卒業生は「**学校名のみ**」を記入。「**卒業**」は記入しない。
- ⑪ 高校生は「高校生」・中学生は「**中学〇年生**」と学年を記入。社会人は「**会社員**」等と記入。
- ⑫ 試合成績欄「年・月・日」・「大会名」は、同名の大会で同日に複数の試合を行った場合でも、「**〃**」は**使用せず**、それぞれ記入。
- ⑬ 相手段位は無段・一級、初・弐・参段と該当する級・段位を記入。
- ⑭ 試合結果は、勝ち:○、引き分け:×と記入。
- ⑮ 外国籍の地区会員は、国籍・入国年月日を記入。  
「●年(西暦)全柔連公認●指導員資格取得」  
「●年(西暦)全柔連公認●級ライセンス審判員資格取得」はこの欄に記入
- ⑯ 柔道修行経歴欄は記入例のように記入
- ⑰ 現在の修行状況欄は記入例のように記入

- ◎ 推薦書は審議に重要な書類です。  
正確に不実記載の無いように注意してください。  
(本例は参段までです。)
- ◎ 県柔連の審査日は、県柔連の行事予定をご確認ください。
- ◎ 同じ団体で、複数の候補者がいて、推薦書のコピーを利用する場合、個々の記入内容をご確認ください。
- ◎ 地区柔道会への提出は、案内期日より早めにお問い合わせいたします。

**事前の稽古** (予定は事前確認要。)  
毎週水・金曜日 18:30~  
千葉市中央コミュニティーセンター4階  
(使用料要)にて指導します。

千葉地区柔道会(審議担当)